

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 5月

令和4年5月1日の推計人口 1,286,184人
世帯数 557,457世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和4年5月1日現在の推計人口は、1,286,184人で、前月(1,284,787)に比べ1,397人の増加となった。

市部では、佐世保市(752)、諫早市(248)、大村市(196)、対馬市(128)、五島市(109)、島原市(71)、壱岐市(68)、雲仙市(40)の8市で増加し、長崎市(△115)、南島原市(△57)、松浦市(△38)、西海市(△32)、平戸市(△31)の5市で減少した。

郡部では、時津町(65)、佐々町(11)、長与町(10)、小値賀町(1)の4町で増加し、波佐見町(△16)、新上五島町(△8)、東彼杵町(△4)、川棚町(△1)の4町で減少した。

自然動態は、出生数646人、死亡数1,415人で769人の減少、社会動態は、転入者数7,829人(県内転入を含む)、転出者5,663人(県内転出を含む)で、2,166人の増加となった。

2 世帯数

令和4年5月1日現在の世帯数は、557,457世帯で前月(555,257)に比べ2,275世帯の増加となった。

(注)

・異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 3月

1人当たり現金給与総額 254,560円
対前月比 6.0%増加
対前年同月比 10.4%減少

1 賃金

3月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は254,560円で、前月に比べ6.0%増加し、前年同月に比べ10.4%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は239,236円で、前月に比べ0.9%増加し、前年同月に比べ3.5%減少した。

特別給与額は15,324円で、前年同月に比べ、20,875円減少した。

2 労働時間

3月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は145.7時間で、前月に比べ6.2%増加し、前年同月に比べ2.9%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.9時間で前月に比べ6.1%増加し、前年同月と比べ、2.9%減少した。

所定外労働時間数は10.8時間で、前月に比べ8.0%増加し、前年同月に比べ2.6%減少した。

3 雇用

3月の常用労働者数は207,993人で、前月に比べ、1.8%減少し、前年同月に比べ1.7%減少した。

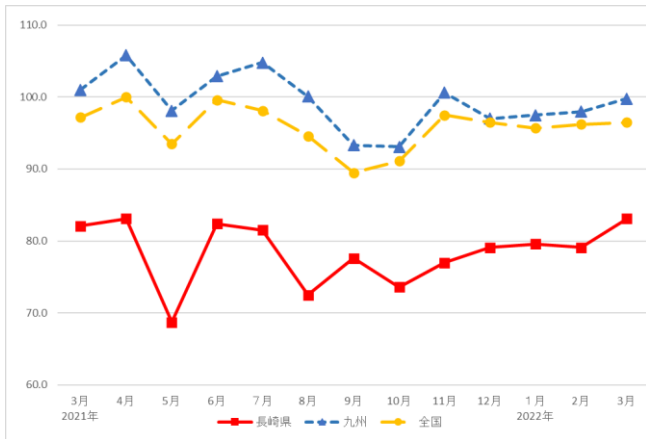
【鉱工業生産指数】……………3月

令和4年3月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	83.1	5.1	85.3	0.4
九州	99.8	1.6	108.5	△2.5
全国	96.5	0.3	107.1	△1.7

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2022年3月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が83.1で対前月比は5.1%の増、原指数は85.3で対前年同月比は0.4%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業など9業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業、など3業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	74.7	開閉制御装置
はん用・生産用機械工業	24.5	蒸気タービンの部品・付属品
輸送機械工業	24.2	修繕船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	△10.1	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	△2.9	生コンクリート

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………4月

総合指数(R2=100)	101.4
対前月比(%)	+0.5
対前年同月比(%)	+2.3

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、101.4である。

前月比0.5%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+0.6%、「住居」の+0.4%であり、主な下落要因は「保健医療」の△0.9%、「諸雑費」の△0.4%である。

前年同月比は、令和3年12月は+0.6%、1月は+0.3%、2月は0.5%、3月は1.0%と推移した後、4月は2.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は101.1で前月比0.5%の上昇であり、前年同月比は+2.0%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

被服及び履物	3.3%
教養娯楽	0.9%
家具・家事用品	0.8%
光熱・水道	0.7%
食料	0.6%
住居	0.4%
教育	0.4%

▽下落した費目

保健医療	△0.9%
諸雑費	△0.4%
交通・通信	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………4月

消費支出(一世帯当たり)	364,012円
前月比	46,184円増(14.5%増)

令和4年4月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は364,012円で、前月比14.5%の増、前年同月比は19.5%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は70.1%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。